

# 集中治療センター(集中治療室)

## 1. スタッフ構成(2025年3月時点)

- 藤谷 太郎(副院長、経営改革推進本部副本部長、経営改革推進室長)
- 奥田 康之(入院サポートセンター長)
- 中西 和雄(麻酔科主任部長)
- 矢野 雅起(麻酔科部長、集中治療センター長、集中治療室長)
- 程野 茂樹(麻酔科部長)
- 武田 泰子(ペインクリニック内科部長)
- 品川 育代(麻酔科部長)
- 菊池 幸太郎(麻酔科部長)
- 上松 敬吾(麻酔科部長)
- 高柳 友貴(麻酔科部長)
- 佐々木 知恵(麻酔科部長)
- 相原 法昌(麻酔科医長)
- 中西 智紀(麻酔科専攻医)
- 佐々木 凜来(麻酔科専攻医)
- 吉良 美香(麻酔科専攻医)
- 木村 奈々(看護長)
- 看護師:35名
- 看護補助者:1名

## 2. 認定資格取得(2025年3月時点)

資格名	資格取得者
日本集中治療医学会集中治療専門医	矢野雅起、上松敬吾
日本専門医機構麻酔科専門医	藤谷太郎、奥田康之、中西和雄、矢野雅起、程野茂樹、武田泰子、品川育代、菊池幸太郎、上松敬吾、佐々木知恵
日本麻酔科学会麻酔科専門医	高柳友貴
日本麻酔科学会麻酔科認定医	藤谷太郎、奥田康之、品川育代、佐々木知恵
日本麻酔科学会麻酔科指導医	藤谷太郎、奥田康之、中西和雄、矢野雅起、程野茂樹、武田泰子、品川育代、菊池幸太郎、佐々木知恵
日本看護協会集中ケア認定看護師	中村京子
日本看護協会クリティカルケア認定看護師	越智康弘

## 3. 運営方針

急病や大手術のために生命が脅かされ、重症かつ不安定な病態のため集中治療を必要とする患者さんに集学的なチーム医療を提供し、患者さんの一日も早い回復と社会復帰を目指します。

## 4. 実績

### ■ ICU 入室患者収容状況(短時間入室含む)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
消化器外科	47	54	58	49	60	58	58	52	49	50	45	53	633
呼吸器外科	11	7	16	14	13	12	16	20	13	14	13	12	161
乳腺・内分泌外科			1					1				1	3
心臓血管外科	25	21	21	24	24	21	22	28	22	22	22	21	273
脳神経外科	6	11	11	11	15	14	13	13	10	12	11	11	138
泌尿器科	23	29	22	24	25	21	24	24	21	26	18	20	277
耳鼻咽喉科	3	4	2	3	2	4	1	2	3	1	2	2	29
整形外科	13	19	14	18	17	10	13	9	8	16	12	9	158
形成外科	1	2		1			1					1	6
産婦人科	1	1	1	2			2	1	1	2	1	1	13
消化器内科	1	2	1		1	2		1	3			1	12
呼吸器内科			2		2		1	2					7
循環器内科	14	12	12	10	11	9	14	11	14	14	14	19	154
腎臓内科		1				1	1				1		4
脳神経内科	1	1					1		1		1		5
血液内科		1		1					1	1			4
小児科			1		3				1	1		1	7
小児外科			1										1
皮膚科						1							1
眼科		1											1
救急科						1		1			1		3

その他			1										1
合計	146	166	164	157	173	154	167	165	147	159	141	152	1,891

診療棟 4 階の手術部に隣接して集中治療センター(ICU)があります。治療ベッドは 12 床(無菌室 1 床、陰圧室 2 床含む)で、スーパーICU と称される特定集中治療室管理料 2 を取得する県内唯一の施設です。麻酔科が管理するオープン型 ICU で、麻酔科と各診療科が協働し、24 時間体制で治療にあたっています。

2024 年は 1,761 名が入室、それ以外に短時間入室患者 130 名を収容しました。入室患者の大半は、外科系の開頭、開胸、開心術や生体腎移植術等の大手術後の患者さんです。最近は、高齢者や重篤な合併症を有する患者さんが増えています。また、院内急変など集中治療を要する患者さんも入室しています。

人工呼吸、血液浄化、経皮的心肺補助等の生命維持装置を用いた特殊治療も数多く行っており、最近では NPPV(非侵襲的人工呼吸)を積極的に導入しています。集中治療センターでは、このような重篤な患者さんの治療にあたっており、重症患者治療の「最後の砦」とみなされています。

※なお、診療棟 4 階に隣接した救命 ICU エリア(10 床)があり、こちらは主に院外から搬送(三次救急)された重症の救急患者を治療対象としています。

## 5. 2025 年度目標

- (1) 救急部等の院内関係部署との連携を図りつつ、さらなる効率的運営に努めます。
- (2) 新しい治療の知見を収集し、より洗練された集中治療環境の構築を図ります。
- (3) 医師、看護師等の資格取得を推進し、スーパーICUとしての運営体制の強化、拡充を図ります。

## 6. 学術関係

### (1) 学会発表および講演

1. 高柳友貴、矢野雅起、藤谷太郎、中西和雄、土手健太郎、菊池幸太郎、上松敬吾、相原法昌. 胸部ステントグラフト内挿術中のアナフィラキシーショックに対し経皮的心肺補助を使用して救命し得た一例. 第 51 回日本集中治療医学会学術集会. 札幌 (2024.3.14-16)
2. 土手健太郎、矢野雅起、上松敬吾、高柳友貴、相原法昌、中西和雄、藤谷太郎、牧野洋. 日本の集中治療の源流(2) 誰が Intensive Care の Care を治療と訳したか. 第 51 回日本集中治療医学会学術集会. 札幌 (2024.3.14-16)